

2022年
3月議会

医療・教育・福祉・子育ての充実こそ! 日本共産党松戸市議団

市民の望む松戸市へ転換

ロシアのウクライナ侵略が続く中、政権与党などは戦争に乗じた「核共有」や「敵基地攻撃能力」「憲法改定」を掲げ突き進んでいます。一方で格差と貧困の拡大、物価高騰、コロナ感染症で国民の生活は困難を極めています。

市政でも高齢者の命と健康を守る砦の東松戸病院廃止条例が強行され、財政見直しも市民合意も不十分なまま大型開発を推し進めています。

きたる市長選・参院選・市議選で、命と暮らし、平和を守る政治に変えましょう。



かすえ
ミール 計恵
建設経済常任委員



ひらた
平田きよみ
教育環境常任委員



やまぐち まさこ
山口 正子
健康福祉常任委員



うつ野 ぶみゆき
うつの 史行
総務財務常任委員

医療

市立東松戸病院・梨香苑の廃止問題— 市民合意なしに強行提案、 自民・公明などが廃止条例を賛成!

3月議会にむけて、東松戸病院・梨香苑の存続を求める多くの市民や団体が、全議員への要請や執行部・職員へのアピールを行ない、定例議会中は繰り返し傍聴者があふれました。ところが市は、市民の意見にまともに応えないまま「東松戸病院・梨香苑の廃止条例」を提案し、そのうえ議会に対する不誠実な対応も浮き彫りになりました。

この4月から東松戸病院のベッドを48床も減らす病院予算について、「まだ決定していない病院廃止を前提に病床を削減するのか」との質問に、市は「廃止にかかわらず削減するものだ」と答弁をしました。ところが市の資料には「東松戸病院の廃止に向け病床を再編・縮小する」と明確に記載されており「病床削減と東松戸病院廃止は関係なし」とは明らかな虚偽答弁です。さらに「関係ないとは言っていない、かわりなくと言った」などという上塗り答弁は、桜をみる会で「幅広く募ったが募集はしていない」という安倍元首相の発言と同じです。「その場限りの言い逃れのように議会答弁を変えるなど、審査の前提を欠いた姿勢の極みであり賛否を論ずるに値しない」と強く指摘しました。

回復期の病床が東葛地域で3000床近くも不足している中で東松戸病院・梨香苑の廃止は止めよと、『存続を求める会』などの団体や個人から5500筆を超える署名が市長に提出されています。市長はこの署名に込められた思いと重みをしっかり受け止めるべきです。

14人の議員は廃止条例に反対しましたが、自民・公明などの多数で廃止条例は成立してしまいました。市長や議会を変えれば東松戸病院・梨香苑の廃止は止められます。さらに取り組みを強めましょう。



教育

GIGA (ギガ) スクール構想と 学校コンピュータに年間12億円 その一方で壊れた小学校プールは使えないまま改修せず…

デジタル庁が強力に進めるGIGAスクール構想で4.1億円、その他コンピューター室のパソコンに7.8億円と毎年12億円かかっています。GIGAスクールで1人1台タブレットが配布されてから、1度もコンピューター室を使っていない例もあり二重コストになっている可能性があります。

他方、2つの小学校で数年前から壊れたままのプールは改修予算はついていません。市は「全校にプールが必要かなど、あり方を検討中」と言いますが、ほとんど検討は進まず、毎年850万円かけ民間プールでの指導が続いています。国の補助金を使いプールを改修した方がいずれ安くなること、また学校コンピューターの二重コストを解消しプール改修に予算を回すよう提案しました。「あり方検討」に時間をかける前に、まず教育環境の整備こそ優先すべきです。



まつど民報
【議会報告】

2022年4・5月号
日本共産党松戸市議団
TEL 047 (349) 1544
FAX 047 (349) 2293

ご意見・お問い合わせはホームページから

日本共産党松戸市議団

検索

この議会報告は、政務活動費により発行されています



無料
法律相談

毎月第3木曜日
☎要電話予約

福祉

国民健康保険料の引き上げは 市長公約違反

「国民健康保険料を引き下げます」と公約し当選した本郷谷市長。しかし3期12年い子ども下がることがないまま、この4月からの国保料（均等割）2000円引き上げが自民・公明などの賛成で決まりました。

国保加入者の医療にかかる費用が増加したということですが、松戸市の国保加入者1人あたりの医療費は県内37市の中で37番目、最も医療費を使っていません。千葉・船橋・市川・柏市と比べ国保加入者の低所得化がすすんでいるのに、市が負担軽減の努力を怠ってきたため国の保険料軽減策も受けられず、保険料負担が重くなる悪循環となっています。公約違反を認めず釈明もしない市長の責任は重大です。

一方、今年度から就学前の子どもの均等割が半額に軽減されます。これは長年の運動が国を動かした大きな成果です。均等割2000円を引き上げる市長の提案は、こうした国の方針にも逆行する問題です。

子どもの医療費無料化が18歳まで拡大!・声と運動実る

新年度から高校生(18歳)まで入院・通院の医療費助成制度が拡大されました。0歳の医療費無料化から市民の皆さんと30年以上にわたって繰り返し要望・陳情に取り組んできた成果であり、また日本共産党市議団の公約実現です。当面、高校生以上は申請して返金される償還払いですが、中学生以下と同様「窓口無料化」の実現と200円の負担撤廃に向け引き続き取り組みます。



子育て

保護者の実感・願いと かい離する「子育て日本一」 —子どもの最善の利益にかなう保育環境・質の充実を—

市は民間の「共働き子育て支援ランキング日本一」を盛んに宣伝しています。しかし何がどの程度評価されたかの詳細は不明で、保育の質については43項目中わずか2項目と「質より量」重視の内容となっています。市のアンケートでも転入者は「引越してくる前の方がよかった」、転出者は「引越してよかった」という声が相次ぐ残念な結果です。

園庭もない小規模保育所での毎日の公園探しは常に危険と隣り合わせ、「質の担保」の研修なども十分とは言えず、「小規模保育所中心の方針は見直しを」と自民系議員からも声上がるほどです。

安上がり保育ではなく、0～5歳まで通えるフルスペック保育所を中心とした、子どもの利益第一の保育への転換こそ求められています。

また学童クラブについても学校の間借りではなく専用施設の確保と支援員・補助員の処遇改善を求めます。

市民不在の『大型開発最優先の市政』はやめよ!

市政運営を歪める『新総合計画』は見直しを

新総合計画は今後8年間の市政運営を方向付ける極めて重要な計画であり、日本共産党市議団は86項目の意見を提出し計画案の見直しを提案してきました。

まず「基本理念」がなくなつたことは大きな問題です。現在の松戸市基本構想には3つの基本理念「人権が尊重されるまち」「快適な環境の中で人と人が支え合う地域社会のあるまち」「地球にやさしい市民の交流を支える活力と魅力あるまち」が掲げられています。

ある、全世代よりもまず「子育て世代・若者に選ばれる」ことを優先した記述や、基本目標の「多くの人から選ばれるまち」という記述など「選ばれる」ことを最優先した計画であることが特徴的です。

8年間の財政見直しには「市役所跡地の売却収入」が入るなど「移転ありき」の状態です。他方で算入すべき新クリーンセンター関連費用は盛り込まれていません。

また千駄堀新駅など多くの開発が事業費の見直しもないまま列挙されていますが、計画に記載された以上は一定の費用の想定を示すべきですし、示せない事業は計画から落とすべきです。

不明瞭な財政・開発の見直しも問題

な提案が議会との溝を深めています。3つの基本理念の総合計画への明記と、「選ばれること最優先」の姿勢の見直しを求めました。

ありきで進める強引な手法、これが民主主義の姿!?

松戸駅東口・新拠点ゾーン開発

市は松戸駅東口の松戸中央公園など一帯を新拠点ゾーンとして開発を進めようとしています。この計画の目玉は市役所の移転建て替えです。しかし議会から疑問の声が上がり、市は昨年12月の特別委員会で「移転はゼロベース」と答弁せざるを得ませんでした。

ところが市は市役所予定地の土地購入費用27億円を新年度予算に計上、自民・公明などの賛成で可決されました。市役所が移転するかも決まらないのに土地を買って、開発は進められ、後戻りできない状況が作られています。日本共産党は早く安い現地建て替えを提案し、他の議員も同様の主張をしています。市役所建て替えについて市民に知らせず声も聞かない姿勢は異常です。引き続き市民の声・議会の議論の尊重を求めていきます。

外堀を埋める手法ここでも

新松戸駅東側地区土地区画整理事業

市が市民の土地を8割近くも取り上げる計画が問題となっている本事業は、コロナ禍を口実に合意形成は進まないまま事業費17億円の都市計画道路の建設は始まり、外堀が埋められています。さらに新松戸駅快速停車に232億円かかることがわかりました。

事業の進捗も快速停車の調査報告も一切明らかにしないまま「なし崩し」で事業を進める住民不在のやり方の異常さがここでも際立っています。

設計図の変更案も提案されていますが、「ウォーカブルな街づくり」などにとってつけたような変更です。問題だらけの本事業は一旦中止し、大幅な計画の見直しと丁寧な合意形成を求めていきます。



山を削り進められる道路工事

ロシアはウクライナへの侵略を中止し、即時撤退せよ!

ロシアのウクライナ侵略は国連憲章・国際人道法に違反し、核による脅しも核兵器禁止条約違反です。日本共産党はロシアであれアメリカであれ、いかなる国の覇権主義も許さずたたかい続けています。市議会はロシア軍の即時撤退を求める意見書を全会一致で採択しましたが、市も「世界平和都市宣言」の市として、憲法9条の堅持と核兵器禁止条約の批准を国に強く求めるべきです。

3月議会のおもな議案に対する各会派等の態度

あなたの気持ちにぴったりの会派・議員は?

3月議会で審議された44の議案、9の意見書等に対して日本共産党は賛成 34、反対 19

議案番号	議案名	議案種別	議員名	会派																
				日本共産党	立憲民主党	政実	市・立	公明党	松政クラブ	まつど未来	無	市民クラブ	無							
60号	2022年度 一般会計予算	議案	宇津野史行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67号	新松戸駅東側土地区画整理事業特別会計予算	議案	山口正子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68号	相模台地区土地区画整理事業特別会計予算	議案	平田きよみ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70号	病院事業会計予算(東松戸病院廃止含む)	議案	三階堂剛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77号	市庁舎整備検討委員会条例の制定	議案	関根シロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84号	国民健康保険料を引き上げる条例改正	議案	戸張友子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89号	東松戸病院・梨香苑の廃止条例	議案	成島良太	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92号	松戸市総合計画策定について	議案	原裕二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

政実:政策実現フォーラム 市・立:市民力・立憲民主党 まつど未来:まつど未来クラブ 無:無所属 欠:欠席 ※議長のため採決に加わらない。敬称略

● あなたのご意見をお寄せください。電話、FAX、メールのあて先は表面にあります。●